

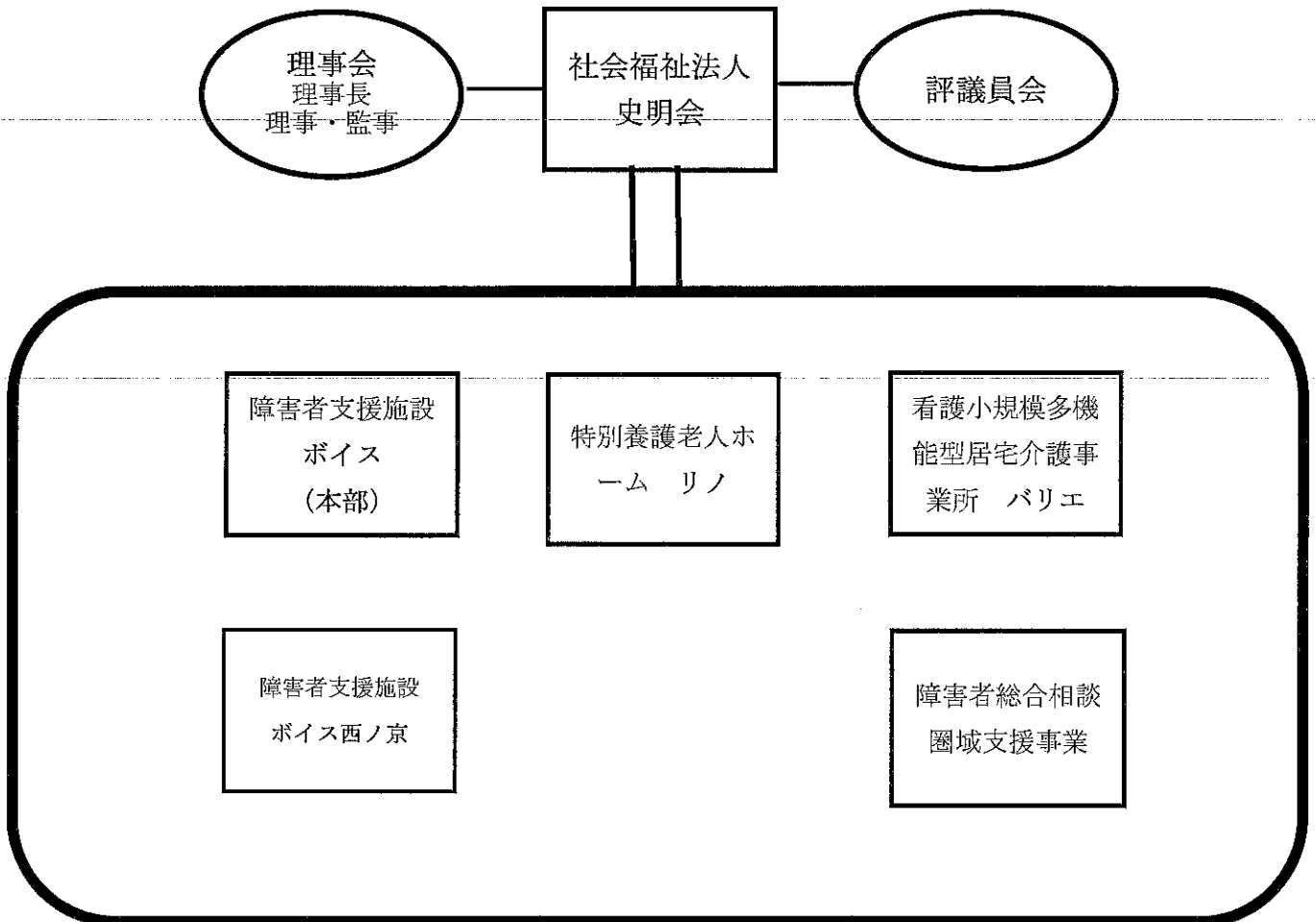
社会福祉法人史明会

令和3年度 事業報告書

法人本部

法人理念に基づき、多種多様な介護・福祉サービス利用者のニーズに応えることができるような事業展開を行うため、奈良市七条西町2丁目に地下1階地上3階建ての総合型福祉施設の整備を行い、奈良県総合医療センター前という立地条件を活かし、退院後のリハビリや高齢者、障害者等に総合的に活用できる福祉施設の整備を行い、1階部分を、平成30年4月に奈良市から地域密着型サービスである看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエとして事業を開始した。2階、3階については、入所施設として、活用できるように、奈良市に要望を継続的に行った結果、奈良市から奈良市第5期障害福祉計画（平成30年～令和2年度）に則った計画とみなされ、認可の承諾が得られたことから、令和2年5月より工事に着手し、同年10月にボイス西ノ京を設置した。

なお、令和4年3月末日をもって障害者総合相談圏域支援事業を廃止した。



障害者支援施設ボイス・障害者支援施設ボイス 西ノ京

支援方針：

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため施設の分割・個室化・利用者の移転を令和2年10月に実施、全室個室化により、利用者それぞれが、プライベートな空間や時間を持つことができるようになったと感じる。また、コロナ禍においては感染症予防に大きな効果になっていると思われる。

ボイス西ノ京には、高齢期の利用者、身体障害と知的障害の重複障害の利用者の多くが転居した。就労能力はないが、ゆったりとした生活の中で、アート活動や散歩を通して穏やかな時間を過ごせていただけるよう支援をしている。両施設ともに、入所定員を30人へと下げたことにより、健康管理や口腔ケアにしっかりと取り組めるようになったと感じている。

また、新型コロナウイルスによる活動自粛に関して、利用者様への説明を繰り返し行う機会を設けたことで、大きな混乱もなく過ごすことが出来た。利用者様に対応する力が身につけていることにも気付かされた1年であった。

人材確保と育成：

昨年度に引き続き、両施設ともに人員配置体制加算を取得できる程度に人材確保はできたが、女性スタッフの数が少ないことにより、夜勤や遅出の特定の時間帯の配置が在職スタッフの負担になっていることから、引き続き人材確保は必要である。

虐待防止の研修会や感染症対策、権利擁護の勉強会を適宜実施したが、感染症対策のため外部研修は延期もしくはオンラインでの開催となったが、申し込み多数のため参加できないものもあった。

各部門の取り組み：

行事：例年行っていた施設外での家族交流を兼ねた運動会と忘年会は中止とした。

季節ごとの食事や行事は例年通り実施し、大型連休はホットケーキなどのお菓子作りをする機会を設けた。誕生日プレゼントの購入、ボイス会からのお菓子やクリスマスプレゼントの提供、3密を避けた場所への外出、施設内イベントなど趣向をこらしている

アート：(ボイス) 活動を楽しまれる方や作品展での入賞を目指して取り組む入居者様がおり、それぞれの目的をもって取り組むことができた。

(ボイス西ノ京) 大きな作品に取り組むことはなかったが、数名の方は毎日色塗りや絵を描いて過ごすことができた。

委託：平日は委託作業活動、土日は休暇と生活にメリハリをつけることができたと思う。

運動：(ボイス) マラソンは継続して実施することができた。スポーツ大会等は本年度の参加を見送った。

(ボイス西ノ京) 筋力維持のため施設外の散歩。外出が難しい方については施設内を周回するな

利用者の性別年齢別状況（令和4年3月31日）

ボイス

	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61～70 歳	71～80 歳	合計
男性	4	4	4	6	1		19
女性	2	7		1	1		11
合計	6	11	4	7	2		30

ボイス西ノ京

	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61～70 歳	71～85 歳	合計
男性	2	3	5	4		2	16
女性			1	4	3	3	11
合計	2	3	6	8	6	5	27

利用者の障害支援区分状況（令和4年3月31日）

ボイス

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	2	12	5	19
女性	0	0	0	8	1	2	11
合計	0	0	0	10	13	7	30

ボイス西ノ京

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	2	7	7	16
女性	0	0	0	0	7	4	11
合計	0	0	0	2	14	11	27

利用者の療育手帳所持状況（令和4年3月31日）

ボイス

	A	B	合計
男性	17	2	19
女性	5	6	11
合計	22	8	30

ボイス西ノ京

	A	B	合計
男性	14		14
女性	11		11
合計	25		25

利用者の身体障害者手帳状況（平成4年3月31日）

ボイス

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男性			2				2
女性				1			1
合計			2	1			3

ボイス西ノ京

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男性	1	2				1	4
女性	2	1	1				4
合計	3	3	1			1	8

特別養護老人ホーム リノ事業報告

稼働率：

令和3年度は、施設での看取りと病院での死亡が多く発生した。その結果として入居の稼働率を維持するのに苦慮する事態となる。

また、コロナの影響によりショートステイでは新規入居の利用が少なく稼働率が一昨年より低下した。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種については、入居者及び職員を対象に嘱託医の協力を得て巡回による施設内接種を第1回目と第2回目を5月と6月に実施し、更に追加接種（第3回目）を令和4年2月に実施した。

特養リノ		R3年度	年間日数：365日	
【入居】		【ショート】		
月間稼働率		月間稼働率（空所含む）		
R3年4月	88%	R3年4月	54%	
R3年5月	86%	R3年5月	54%	
R3年6月	87%	R3年6月	48%	
R3年7月	88%	R3年7月	53%	
R3年8月	87%	R3年8月	50%	
R3年9月	85%	R3年9月	56%	
R3年10月	83%	R3年10月	48%	
R3年11月	85%	R3年11月	51%	
R3年12月	86%	R3年12月	60%	
R4年1月	87%	R4年1月	61%	
R4年2月	84%	R4年2月	56%	
R4年3月	85%	R4年3月	67%	
*年間稼働率	86%	*年間稼働率（空所含む※）	54%	
*年間利用者合計数	28,110名	*年間利用者合計数	2,001名	

職員採用・勉強会等：

令和元年度より入社後3日以内に新人研修を開始。特養とは何か、介護者の心構えなど3時間程度おこなう。結果として離職率の低下に繋がり、特に未経験で介護の経験がないスタッフの安定がはかれた。

各種勉強会は例年と変わらず、コロナ対策を講じたうえで開催。参加者へは出席要請と確認を十分におこない、開催後のレポート提出の徹底により個々の習熟度合の把握をおこなった。

採用に関しては、派遣からの正職員への登用が主流となっている。ハローワーク、就職フェア、HPからの応募はほぼなかった。

総 評：

令和2年明けからのコロナ感染拡大により施設での備品の確保、職員・利用者の健康確認の徹底に苦慮したが、全体的には相談員などの営業努力などにより安定した運営が行えた。また、介護職員の定着に向けスキルアップすることで離職が減り、利用者の安定につながった。

看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエ

支援目標：

外出行事については、感染症予防の観点からドライブ以外の外出行事は中止した。日常生活は、昨年度は希望に応じてリハビリ機器や散歩を実施していたが、スタッフからの声掛けや働きかけにより、日中時間帯に積極的に体を動かしていただくように支援した。介護度が下がった利用者様も中にはいらっしゃり、効果は感じられていると思われる。

地域とのつながりについても、昨年度に引き続き感染予防の観点から、極力施設内への外部からの立ち入りを制限するために、1年間中止を地域包括支援センターにお願いした。今後は、新型コロナウイルスの感染動向やその他の情報を注視しながら再開時期を模索していく必要がある。

職員：

登録利用者の増減に伴い、人員補充が常に必要な1年であった。派遣から直接雇用へ雇い変え等で人件費は若干抑えられたものの、利用者の増減に応じて職員数を増減することは難しいことから、今後は常に通り15名に対しての人員配置を満たすように職員配置を行っていく。

訪問看護ステーションの実施に向けては、安定した事業経営を目指し、次年度に先送りとした。

研修計画：

主にOJTにより実施。感染症対策のため、複数人で集まる機会を極力避けたことと、熱発者や家族（同居者）の発熱や体調不良により、急な休みも多くあり、今後はオンラインでの研修を主として実施する必要があると感じた。

登録者数

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	1	1	1						2	1	1
2	8	8	8	8	10	9	9	11	9	9	9	9
3	3	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1
4	4	3	3	3	2	3	3	2	3	2	2	2
5												
合計	16	14	14	14	13	14	13	14	13	14	13	13